大学自治の主体は誰か

教授会の独裁性=ザイフエルト

つ体制保守的存在でないか、と同君は述べている。急増問題、教育総制などの重要

須採日教養配分問題、またこのザイフェルト問題など

という公式はそのまま送当するであつうい。 る。第一、一等は大学の自治の雑 極関としたいう公式はその生産が振り自治にある。 悪して大学の自治は教授の自治にある、 専件の銀利所の大学の自治に関する以解であ 大学の自治と観察報が問題になったポポロ座 か。我々は十分批判的な視点を培ってゆく必の大学内における研究および教育上の有形紙 また将米にわたって送当してゆくのであろうで、「学長の校務貿惠の権限を中心としてそ

ある。学生は基本的に学問に参加しているの との点に関して興味深いのは学問の自由、

大学自治の再検討

ととに、投稿を掲載して、とれらの問題認識の参考に供したい。



社 告

ない。」の聞い、そのことで自己を表現す

月二十五日号、二月一日号は

つまり、処女作「梅迅」は、す い。批評はその先からはじまるの とで厳心してしまっては、竹内

気持のあらわれではないだろうか。」(石 に同じ) の竹内の戦後 啓蒙者として

好の戦後の唐蒙治難にあるのでは、人がドレイであることの自覚もう」と、批評は、中国文学研究者竹内、レイでないから、したがってじぶ、の、北評は、中国文学研究者竹内、レイでないから、したがってじぶ、まがりなりに下

ならぬ。竹内の揺瘍は、その捕い

分ある。 げんに私にして

たやすい。竹内のその甘さが

ていない」原因の一部分

日本では、精神の自己運動



■1で 東門 東川東 かかかるから間延期を中山からから上したの間が必要が延伸している場合で、からなったなどに対象が近れてはならないなりません。 ではたの情報が上してから後のものスペープ・アナイテルとは近端 は不会は近めの様子ので簡にいる提出をきたったのはないなのであるようではなどのの目的はない。 近日 本社に「人 夜の中で「国党会議的上げかだいのくり」となわせ、日本の上の前に関係が多く物であった。

る皆の食事内容に問題がある。一

も食事の形態からコーヒー・映画あるという。それ故その講覧項目 たが、それと比較してみても頭白 必要度は全学生中十五%強の学生 続けているのは大いに問題がある でいるは編輯室の結果と見合せいるのみで、残りの学生と思う。また、本社が毎年行ながバイトを必要としない アレベイトとソントの日。全学学生のと思われるが、ことでも る。最近の諸物領領上の

次の維利率にも解析しているよう ぞれに教養男子はは六五%次の維利率にも解析しているよう ぞれに教養男子はは六五%

たが、大阪の上昇は苦しく、一八 イトは切離せないものである場を 8(昨年度一六・七%)と上昇し るという夢深はまだまだ学生とバ 金のかけべつかを占めるのは、大、間米が対してからの他にある。ま、見るのが送当であらう。それは次、みてこのギリ傑に反発を与えるの人を受けていると、れない。また、間米がブーマンの子弟が 十三歩いる。魏りは三十分~一時 単に番番の値上りを示していると れない。また、何々の字字活かり (先) 着親程男子で前年まで、筑まれる。とまれアルバイトによ てみると、干円未搬十八・七条。

(?) 類欲的な風潮がすたれてい

では、そろうなもの」はいいには円的に

直方~直五十万の安隆二十一・二 トウキョウの状態と比較してみれ かしことで学生の万の別が年取で最大の割台を示すものが いうことは、かのニッポンの宣都 ことによってもうかがら 学生=ホワイトカラー二軍といた一月当たりの平均選学費も不要の書籍の海足度の項目で不充分で分も多いにはい

名作集(三大正編 縣 世界文学全集(第五十回)完結! 金色の喪章 月の光 洋著

画像の一夜を楽した紀原の甘美な が、逆転トリックを原使した本格 た。逆転トリックを原使した本格

柴田錬三郎著 時代表過了 野売中・毎三

魚と伝説は

丹羽文雄著

に情火を秘めて、かわらぬ恋 に情火を秘めて、かわらぬ恋

長編託短作。 発売中・価三〇〇円

(後編・近刊)発売中・価五〇〇円

舟橋聖) 著(前) 東京都新宿区矢来町・振替東京八〇八零 ◆新春におくる豊富な話題作! 耐 健康で、美しく、性的魅力にあ 新 刊

ではず、敗北を「進歩」「理性の では、敗北を東洋の「完進国」と自

433

**○□ 既 | ) りむま** とことばを撃して、急出の「無」 出」が、警報の上で解散になり、 への方法」や、 配割的な軸文「甲 有」を可能にす。 ていい。おびただしいエネルギイ「朝で未満かるしれる戦戦下の「海」 四寸、八年に、竹内は「文化移 戦後日本論 \*\*\*\* 絶望すら不可能な 戦時下の「巻は」が「抹殺され 文学者」から「啓蒙者」 本論① 竹內 好論 ④ っぱ「啓蒙者」が「文学者」から生とに何であったのか。いいかえれ 戦後、中国大陸から帰還した竹内 い、絶遇すら日本では可能でないしかし、ほんとうの困難は、敗 ながら、参迅が日本では生まれな という認識からくる、自己観点にないにされたのである。竹内 とらわれた啓蒙者の顔つきをして ある。処女作の「魯迅」の求心的 したか?そとには、あきらかにズーよく理解できる。との点に関する つまり、竹内は戦後、とのよう

きる場であった。この事情を、処 女作「醤迅」で竹内はこう書いている。 「彼は、彼を習しめる一つの影 って彼を内から習しめたが、今 って彼を内から習しめたが、今 いうことである。魯迅は小説を奨心的というのは、たとえば、とう それと殴うととが、彼にあって しかし、論争は、小説や詩が樂で 、自己を表現すること

。う

の痛罵と竹内 た文学者が、戦後とう得生したか ない。「魯迅」という作品を書い、まれない」から、そこで生きてい

の引用にあきらかな、日本文

をあばきだし、病院する。際内は一疑っ

「中国の近代と日本の近代」

も、精神でのものが前地的

扱という自覚は、 当然には 起ら

的であるから、終退の方向から フと革命の場 抵抗のモチー

食養を伝 割が一年に一回以上の旅行を行っ い「自己緩慢」は、対象へのはだして元変した歴史の運動だらしむ。 目につく。金字的に言っても約一を収北と感じ、 らきとしてみれば、近代への総念 としで、「前担」(後退」とい 機

半数近 ている。戦後学生の著しい勢嶺と して言われる行動主義の現われか につ 念を載せている「場」を自覚する 虚偽)をひきばがすととである

で持ってきた現在、生態重盛 「何でも見てやろう」主義を削収 現実かろうか。別入者はほぼ百多 見で見しつかえなさそうだ。この を慰とめえてみる必要があるので 年の百年期の一般的傾向の視れと ルクニ ととである。現実は安革されると 主義者が、現実という概念

勝海 白 羅索斯 建物 第一個

戦後民主主義の全台だにつなが

代精神は精神の名に値しないド

瀬戸内晴美書 話題の長嗣。 発作・価目目

水上

いって、竹内が、魯迅といい

映

画

競

争

0

幕 開

できるをえ、いその第一作としていた「大忠問献」が出、 邦璽大社 合戦として目標を立てていたため、松川らし 東京 一朝 盆鯛行である。松竹は前々から八月を第一回

い(写真は黒沢明 小

コンバ、ご宴会に、気軽に御利用下さい。 御利用下さい。 大将 葉・自慢の味ど値段 大将 葉・自慢の味ど値段 大将 ボール 二名の中も をあった。

天下大将军

川

御

大・復宝は「最後の原元」との年東映は各ペートの一日治は「日夜の妖女」との年東映は各ペートの一日治は「日夜の妖女」との「米」(今井)で

\*ローマは一日にしてならず、 この味、この評判も……

さえら食堂

四条店 河・四条下ル 三条店 河・三条上ル 桃山店 伏見・大手筋

書の著者であっ

が、溝口健二は揺とうとす

たものを一冊にまとめあげた に二十数回にわたって連載 についてがるが、雑誌「映画

監督と脚本家の人間劇

状況脱脚へのバネに

深尾道典

殉教の美学

## 末完のダイナミ ズ 4

は1919年9月3727 プリト作(小山内県)「村町」人院 管野ン
これらの上海に関する細かい記し

創成期回帰の有効性

商業 「台灣園」人以上、於 10月28~27、ハウブ 等3月3日点、小山内は第一回の 第三十四×八麻行に出かけている。 第三十四×八麻行に出かけている。 第一回は 昭和二年) 熱、痰、 (第一回は 昭和二年) 熱、痰、 し、寒吹、彼は論則を連起し、各 のりむばがかきつけられたのは、

評

でいな 〇円) (東映京都撮影所動務) 依田義 (映画芸術社刊・B五判・七〇

はじめにこの遺はある原 作収論でもあると書いたが、 論と呼ぶにはあまりにも二下 と記すないといて、に

想 0

相対 立

0 者

の多 凝

弁









水道用溶接網管 網管構造建築

**醬酒井鉄工**所



